

医 療

早期発見・早期治療のススメ

シリーズ 歯科治療最前線

噛み合わせを良くし、健康生活を

歯科と全身疾患を引き起こす悪い噛み合わせ

「噛み合わせ(後編)」

噛み合わせがよくない人は、虫歯や歯周病などの歯科疾患に罹患したり、全身疾患に悪影響を及ぼす率が、理想的な噛み合わせを維持している人に比べると高いことが立証されています。そこで今号では、前号に続き、噛み合わせ治療について取材しました。

歯列矯正治療を想像しますが、一部には顎の骨を切ったりする外科的治療が必要な患者さんもいます。その場合は入院施設が完備された口腔外科でないとい、治療を受けることができません。

また、矯正治療は見た目、つまり審美性をよくすると捉えられがちですが、実際はそうではなく、本来は噛み合わせの治療です。矯正治療＝噛み合わせ治療と認識することが大切です。もちろん、矯正治療のメリットの一つには見た目もよくなることはあります。

正常な噛み合わせは病気の予防に

ストレスを生み出す悪い噛み合わせ ストレスを生み出す悪い噛み合わせで述べましたが、歯並びが悪く、噛み合わせが悪い人は何がしかのストレスを抱え、笑う時や人と会話をする時など口を塞ぎ気味になり、そういうことに気を配らないといけなくなります。

虫歯や歯周病の治療と違い、噛み合わせ治療は大半の場合、治療期間は長期間に及びます。ただ、1、2本の歯の移動、抜歯後に補てつ(新しい歯を入れ込む)治療を行うケースは、短時間で済む場合もあります。しかし、大半は固定式の装置を口の中に入れるため、歯を正常な

位置に少しずつ移動させなければならぬので、最低1、2年はかかります。以前は、噛み合わせ治療を受ける人は女性が多かったのですが、最近では男性も増え、今ではその性差はなくなっているそうです。さらに患者自身からの要望も多くなっています。噛み合わせに対する意識の高まりはいいことです。



専門医からのアドバイス Q&A

「噛み合わせ治療(後編)」



熊本インプラントセンター 添島 英輔 歯科医師  
日本口腔インプラント学会 会員  
日本矯正歯科学会 会員

常をきたしてきたものに対する治療、歯周病などで噛み合わせが悪くなってしまった時の補てつ処置などもあります。

治療期間は長期間に

Q 治療の開始時期や治療期間はそれぞれ違いますか？

噛み合わせ治療は虫歯や歯周病治療と違い、治療期間は数年に及ぶこともあるといわれています。そこで今月号ではどのような治療が主なものか、噛み合わせの具体的治療について、添島歯科医院(熊本市桜町・添島義和院長)の添島英輔ドクターに、お話を伺いました。

最も多いのが矯正治療

Q 噛み合わせ治療にはどのようなものがありますか？

A ささまざまな器具や装置を用いて歯を良好な位置に動かす歯列矯正治療があります。時には歯の状態により、抜歯したり少し削ったりして噛み合わせをよくする方法もとられます。また、噛み合わせにより顎関節に異

混合歯列時期は「咬合誘導」を

Q 子どもの時に行う治療もあると聞いていますか？

A 矯正治療とは少し違いますが、乳歯と永久歯が混在する混合歯列の時期に「咬合誘導」といまして、特殊な装置を使用して永久歯が良好な位置に生えるようにする治療があります。噛み合わせを良くするための治

療の一つで、大人になってから歯列や噛み合わせの不良の心配を軽減します。

第一高校 ● 合同庁舎 ● 添島歯科医院 桜町センタービル2F ● 市民会館 ● NTT ● 交通センター

(社)日本口腔インプラント学会指定研修施設  
**熊本インプラントセンター 添島歯科医院**  
熊本市桜町1-28-205 桜町センタービル2階  
TEL 0120-354-508  
http://www.soejima-sika.com/

地域医療最前線

南熊本4丁目に新病院建設

熊本消化器外科・村本病院

開業は来年1月上旬を予定



▲くまもと乳腺・胃腸外科病院の完成予想図

医療法人社 団 世安会 熊本消化器外科・村本病院(熊本市世安町・村本一浩理事長、澤田俊彦院長)は、総事業費10億円をかけ同市南熊本4丁目に3階建ての新病院を建設している。完成は11月末、開業は来年1月上旬を予定している。

場所は国道266号沿い、肥後銀行南熊本支店北側の遊技場跡地。敷地面積は2246㎡。建物は3階建てで、延べ床面積は2573㎡。1階は受付、待合室、検査、外来、手術室などで構成され、外来スペースは診療の中心となる乳腺外来と消化器外科・一般外科外来を二つのスペースに分けた。検査では乳房の硬さを画像化するエラストグラフィ(超音波組織弾性映像装置)を導入。良性病変に比べてがん組織がより硬いことを利用して乳がんを検出する超音波装置で、マノグラフィ検査と合わせて乳がんの早期発見に力を入れる。2階は患者の状態を二元的に管理し、医療スタッフの動線を短くすることで、小回りの効く診療体制を確保するためにワンフロア全体を病床にした。ベッド数は41床で、男性パート、女性パートに分け、プライバシーに配慮したレイアウトにしている。3階は管理部門。屋上には空中庭園を設け、患者の憩いの場とする。

診療体制などの詳細は今後詰めていくが、医療スタッフは開業を機に、乳腺及び消化器系の専門医を2人増員し、常



▲今回導入した定位放射線治療装置「ノバリスTx」

熊本放射線外科 医療法人社団法人優会 熊本放射線外科(熊本市出水7丁目・古後佳生理事長・院長)は5月6日、高精度放射線治療統合システム「ノバリスTx」を導入し治療を開始した。

同装置は同院が2005年に導入したがんや腫瘍に対して放射線を集中照射できる定位放射線治療装置「ノバリス」の後継機。多方向から病変部に対してピンポイントで放射線を



古後佳生院長

照射することで病変部周辺の正常組織のダメージを最小限に抑えることができるなどの特徴を引き継ぐとともに、1号機よりもさらに広い照射範囲や照射エネルギーの高出力化でより大きな病変の治療や治療時間の短縮などを可能にしているという。「Tx」の導入と「サイバーナイフII」「ノバリス」「ノバリスTx」という放射線治療装置3台を設置した医療施設の誕生は国内初となる。

古後院長は会見で「これまで治療できなかった症例にも対応でき、治療時間も短縮化される。より多くの患者様にノバリスによる治療を受けてもらえる体制が整った」と話した。



▲「ノバリスTx」の導入に併せ治療棟を増築した(写真左手の2階建て部分)。増築部は鉄筋コンクリート造り一部2階建て、延べ床面積462㎡。コンクリートに厚みを持たせ、建物全体で220トンの鉄板を使用するなど安全面に配慮している